

亞細亞局

號 外

第二編

昭和五年五月廿六日接

BT

5.12.27

昭和五年十二月二十日

在吉林日本帝國總領事館

外務省 文書課 御中

十二月十八日付機密公第八六八號不逞鮮人李鍾洛一派ノ動靜ニ關ス
 ル件本文内容第六行目既報()内へ十二月十日付拙信機密公第
 八四二號ト記入相成度又十行目ノ(本名ノ動靜ニ關シテハ・・・月
 日附號既報)ノ空位ノ内へ十二月十日付拙信機密公第八四三號ト記
 入方相煩度御願申上候

李鍾洛
 十二月二十日
 許白久之
 抄

I-0854

0305

抜取 (電信) 所在箋

五月二十日 芝林 (來) (電信) 第八七二號

所在 (綴込) 行 局課 行 支那倒産

抜取月日 一月二八日

I-0854

0306

亞 6.1.6 三

機密公第八七一號

昭和五年十二月二十日

別紙添附

在吉林

總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

共産黨員崔溪立一派ノ行動ニ関スル件

共産系鮮人崔溪立一派ノ年末年始ニ際シ吉敦沿線ニ於テ暴動ヲ起ス、ノ計画ナリトノ聽込ニ関シ別記ノ通り報告申進ス

本信寫送付先 臨時代理公使、北平、奉天、閩島、哈爾濱

長春

關東長官、朝鮮總督

本件ニ関シ謀知シタル處ニ據レハ鮮人共産黨員崔溪立張南煥(一名奉司)朴キリコール等外十三名ハ第三國際共産黨東洋宣傳部、蘇解ノ下ニ吉敦沿線地方ニ暴動ヲ惹起ス、ノ計劃シ前記東洋宣傳部ヨリ破壊用爆彈三十個、三式長銃十挺ヲ受取リ中東國境ボクヲニナナヤ接壤地ニ露領韓人農坪ヨリ寧古塔朱家屯ニ運搬シ更ニ本月五日額穆縣意氣河居住同志權一致方ニ到着シ教化、額穆兩縣地方ノ同志ヲ糾集シ吉敦鐵道破壞並支那人地主等ノ放火銃殺ヲ密議シ去十一月ヲ期シ奉事ス、ノ計劃中ナリシモ同地方ニ於ケル支那官憲ノ警戒嚴重ナル為メ一時中止シ居タルカ年末年始ヲ期シ遂行ス、ノ計劃シ居レリト云フ

右真偽判明セサルモ謀知ノ極御參考迄

亞細亞局

第二課

昭和六年一月六日

機密公第八七三號

別紙添附

昭和五年十二月二十日

在吉林

總領事 石射猪太郎



去函出天

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

中共党滿洲省委員會ノ地方區域編成ニ関スル件

本件ニ関シ當館ノ諜知シ得タル所別記ノ通り報告申進ス

本信寫送付先 臨時代理公使 北平、奉天、上海、閩島

ハルビン、長春、海龍、通化

關東長官、朝鮮總督

中國共產党滿洲省委員會ニ於テハ地方ヲ分ケテ三個特別區ト
為シ哈長線以北ヲ北滿特別區ニ吉林以東ヲ東滿特別區ニ吉林
以南ヲ南滿特別區ニ編成シ北寧鐵道、南滿鐵道、哈長鐵道、三鐵
道及大連、奉天、哈爾濱、三都市並產業都市トシテ撫順、安東、安遠
ノ三都市ヲ何レモ中心トシテ活動スルコトニナリ居リ又在滿
紅軍ノ活動範圍ハ東滿ハ紅軍二十四軍(既組織)北滿ハ二十三
軍(既組織)南滿ハ二十二軍(未組織)遠カラズ組織ノ答トナリ
居レリト云フ

BI 1

BI

亞細亞局
機密第一二五九號

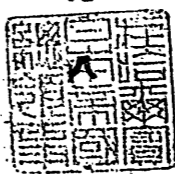
第二編

昭和五年十二月二十二日

在 哈爾濱

總領事 八木

元



昭和六年正月七日



外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

高麗消息

不逞鮮人李鍾洛等一派ノ策動狀況ニ關スル件

中東南部線陶賴昭附近ニ根據ヲ有スル不逞鮮人朝鮮革命軍吉江省指揮部首腦李鍾洛ノ行動ニ關シテハ在吉林總領事發開下宛本年十一月十七日附機密公第七八三號往信報告ノ次第アリ當館ニ於テモ彼等李鍾洛、金光烈一派ノ行動ニ付相當注意查察セシメ居タル處彼等ハ近時中國官憲ノ取締嚴重ヲ加ヘ來リタル爲メ之カ緩和策トシテ從來ノ吉江省指揮

部ノ名ヲ露シ表面民族團體ヲ標榜スヘク單ニ「朝鮮革命軍」ナル名稱ノミヲ用ヒツツアリ十二月朔旬頃右李鍾洛及金光烈ノ兩名ハ當市ニ潜入シ市内某露西亞旅館ニ投宿中同志金小道外隊員四名ト密會シ前記改稱ノ趣旨ヲ徹底セシムルト共ニ今後ノ策動ニ就キ謀議シタル後爾月十日伊通縣卡倫方面ニ向ヒタルモノノ如ク殘部隊員ハ未タ傳家旬及ナハロフカ方面ニ潜伏中ナリトノ趣探知シタル當館警察ニ於テハ嚴探ノ結果十九日午前十時市内買賣街中國旅館三義樓ニ潜伏中ノ朝鮮革命軍吉江省指揮部第三隊調查委員金小島又ハ李明秀事金景瑞（當四十年）ヲ當館警察梁、蔡兩特務ニ於テ逮捕引續キ嚴重取調中

右一先報告ス

本信寫送附先 在中華民國公使 在北平首席

在奉天 吉林 商島 長春各總領事領事 朝鮮總督府警務局長

I-0854

0309

秘

亞細亞局

附錄高收第三四二八九號ノ二

昭和五年十二月二十二日

第二課

昭和五年五月廿七日

局長

5.12.27

折務次官	内務次官	外務次官	内務局長	外務局長	朝鮮局長
------	------	------	------	------	------

漢字新聞ノ記事

奉天ニ於テテ發行支那紙東北商工日報十二月六日附紙上ニ左記譯文ノ如キ記事アルモ其ノ文意ヨリシテ中國共產黨員タル鮮人ノ投稿シタルモノニアラサルヤト思料セラル節アリ御參考迄

1

記

韓民ハ中國ノ敵人ニ非ス

他人カ奸計ヲ以テ彼我ノ感情ヲ傷フ勿レ

聯合シテ起テ奮闘シテ共ニ危亡ヲ救ヘ

——一韓國青年ノ叫——

予ハ滅亡ニ遭ヒタル一韓國人ニシテ本來發言ノ資格ナシ只予ハ生來一

ツ亡國人トシテ亡國奴ノ痛苦ニ對シ經驗アルニ過キス現在ノ東北ハ是

猛虎眼前ノ一塊ノ肉ナリ東北ノ人士ヨ若シ相當ナル覺悟ヲ以テ速ニ起

ツテ努力奮闘セサレハ東北ハ將ニ猛虎ノ餌ト變スルニ難カラス

故ニ予ハ茲ニ敢テ予ノ痛苦ノ經驗ヲ以テ東北人士ニ警告ス……亡國奴

ハ牛馬ト同様ナリ亡國奴ハ決シテ經驗スヘキモノニアラス

帝國主義ノ種々ナル東北侵略政策ハ東北中國人ノ當然知ル所ニシテ予

ノ詞ヲ要セス予カ云フヘキ必要アリト認ムル處ハ最近日本カ韓民ヲ利

2

I-0854

用シテ中國東北ヲ侵略セントスル政策ナリ

多數ノ韓民ハ日本ニ利用セラレ東北各省ニ到リ中國ノ土地ニ對シ陰謀ヲ企テ同時ニ韓民ト中國トノ聯絡ヲ牽制シ韓民ノ中國籍ニ入ルヲ許サス更ニ中間ニ在リテ陰險ナル手段ヲ用ヒ韓民ト中國トノ感情ヲ破壞ス是レ現在中國ノ韓民ニ對スル誤解ヲ多カラシメタル所以ニシテ亦韓民中ノ青年志士ヲシテ中國ト提携セサルニ至ラシメタル所以ナリ

此ニ因リテ日本ノ險惡ナル計盤ハ亦甚ダ圓滿ナル進行ヲ得タリ此ニ至リテ我等ハ先ツ韓國青年ト中國トカ提携セハ事實上如何ナル利益アルカヲ見ルヘシ……韓民ハ久シク日本ニ隷屬シ日本ノ言語人情風俗ヲ熟知ス中國カ若シ亡國ニ痛心スル韓人烈士ヲ招集シ日本ノ滿洲侵略政策ヲ研究シ對症下藥シ彼等ノ陰謀ニ反抗セハ韓民方面ハ日本ノ侵略ニ對スル中國ノ抵抗ノ勝利ヲ借リテ朝鮮ノ獨立ヲ謀ルヲ得ヘシ如斯韓

3

民ト中國トカ提携セハ中國ノ東北問題ハ解決シ朝鮮ノ國家亦恢復ス……是等ノ時ニ注意スル處ニシテ亦日本人ノ中韓提携破壞ノ原因ナリ更ニ中國ノ韓民ニ對スル誤解ヲ見ルヘシ韓民カ東北ニ於テ中國ノ反感ヲ引キ起シタル事ハ全ク日本人カ我等ノ感情ヲ中傷シタルカ爲ナリ一切ノ惡事ハ皆日本ノ欺瞞ヲ受ケタルモノニテ自動ニ非ス固ヨリ韓民中甘シテ日本ニ利用セラレ日本ノ走狗トナルモノアリ但シ是等ハ少數ニシテ且ツ是等ノ少數ニシテ狂人ニ近キ分子ハ獨リ中國人ノ心ヲ害スルノミナラス彼等ノ同胞ト雖モ一樣ニ敵視ス事實是等ノ不良分子ハ何レノ國ニモアリ中國ニ於テモ甘シテ帝國主義ノ走狗トナルモノ少カラサルニ非スヤ？故ニ彼ノ少數ノ不良分子ハ韓民ヲ代表スル能ハス……全體ノ韓民ニハ如斯心願アリ……韓民ハ獨立スル能ハス中國ニ服從シタキ願アリ絶對ニ殘忍奸險ナル日本人ノ奴隷タルヲ欲セス是ノ事實ハ現

4

在知識アル韓民カ皆中國籍ニ入ラントスルニ見ルモ是ヲ證明シ得ヘシ
以上ノ情況ヲ綜合スルニ中國人カ東北ノ主權保持ノ爲メ韓民ニ對スル
誤解ヲ解キ韓民ト提携シテ起ツハ確カニ急務ノ一ナリ祖國ト希クハ我
我中國ノ祖國ト呼ハシメヨ！父老兄弟等ヨ希クハ熱慮セヨ侵略下
ニアル東北ノ現在ヲ韓民利用ノ政策ヲ是レ速ニ解決スヘキモノニアラ
サルカ？具体的ニ云ハシカ日本カ韓民ヲ利用シテ中國ヲ騙スルニ對シ
中國ハ亦韓民ヲ利用シテ土地ノ主權ヲ保持スヘシ而シテ韓民ハ獨立ヲ
謀ル爲メ中國ニ屈服ヲ願フヘシ

東北現在ノ危機ハ人皆知ル所ナリ。中國人ヨ何カ故ニ速ニ起ツテ奮
闘セサルヤ？亡國奴ハ予ノ經驗スル處ナリ！此レヲシモ經驗スヘキ
トナスカー！

氷如 一九三〇、一〇、二〇日

聖諭

第二編

昭和五年十二月廿七日

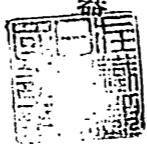
機密第五七九號

昭和五年十二月二十二日

在 鐵 嶺

領事館事務代理 石 塚 邦

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿



支那側官憲ニ被拘禁中ノ樹鷄溝襲撃事件
關係鮮人ノ動靜並ニ釋放運動ニ關スル件

本年十月十八日不逞鮮人團農民協會員ノ清源縣樹鷄溝自衛團ヲ襲
撃セル事件ノ關係被疑者トシテ清源縣清郷局ニ被拘禁中ナル開原

縣柴河溝上肥地河南居住車世彬（襲撃犯人車世昌ノ兄）ニ對シ鮮人
側ニ於テ釋放運動中ノ趣ナルカ八棵樹出張所員ノ報告ニ據レハ本月
四日柴河溝中地居住鮮人崔點龍（車世彬トハ義兄弟）ハ車世彬釋放
運動ノ爲メ清源縣清郷局ニ赴キ車世彬トモ面會シ本月七日歸宅セル
由ナリ本名ノ語ル處目下清源縣清郷局ニ拘禁セラレ居ル鮮人ハ嚴海
珠（自衛團襲撃犯人）嚴泰鉉（嚴海珠ノ父）金昌伯（自衛團襲撃犯
人金水善ノ兄）金在協（自衛團襲撃犯人）成鐘南（自衛團襲撃犯人
）車世彬（自衛團襲撃犯人車世昌ノ兄）ノ六名ト本年舊十月十五日
清源縣南山城子及三間房ニ於テ逮捕セル共產黨員四名ト都合十名ニ
テ其際清郷局通譯鮮人宋某（本月十日報告鮮人課員）カ右崔點龍
ニ洩シタル談片ヨリ察スルニ縣當局ハ鮮人一名ニ付キ現大洋五十元

宛ノ保證金ヲ納入セシメ釋放セントスル内意ナルカ如ク被拘禁者ハ
何レモ支那官憲ノ拘禁目的ハ金錢強要ノ一手段ナルヲ以テ速ニ日本
官憲ニ向ツテ引渡要求方運動アリタシト希望シ居レリト、而シテ崔
點龍ハ歸宅後柴河溝居住鮮支人ニ對シ車世彬釋放運動金ノ募集ニ奔
走スト云フ

而シテ又當鐵嶺大和町居住嚴子善ハ被拘禁者嚴泰鉉ノ實弟ニテ嚴泰
鉉父子ノ釋放運動ノ爲ト稱シ一昨十七日清源縣ニ向ケ出發セリ
本件釋放運動ニ關シテハ當館モ相當注意ヲ拂ヒ居ルモ未タ其ノ時機
ニ非ス暫ク放任シ置クヲ機宜ノ處置ト認メラル
右御參考迄報告申進ス

本信寫送附先 海龍分館主任

朝鮮總督府外事課長

機密

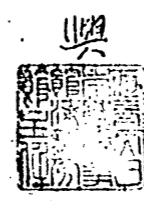
昭和六年四月八日

亞細亞局
機密公沙四四七號

昭和五年十二月二十二日

在海龍

分報主任 松浦



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

志望書

管下共産党状況ニ関スル件

本件ニ関シテハ、量長ニ十月二日附機密公沙三六〇號
拙信ヲ以テ及報告置、知、今以當管下鮮人共
産党ハ其ノ党組織ニ對シテ、表章ヲ加ヘ且ツ其
ノ勢力ニ亦多ク消長ヲ来先カ當該ノ人手
セル情報ニ拠ルハ、去ル十月月中旬管下海龍果四

八石柳河果三源浦、漢原果南山城子ニ根柢
ヲ有スル鮮人共産党幹部約二十名ハ、漢原果
南山城子ニ回房ニ集會シ、一政黨務進行方
法及党組織変更改訂ニ就キ協議會ヲ開キタル結
果高麗共産党青年同盟ハ從來朝鮮ノ共
共産化セントスル方針ハ極メテ狭義ナルノミナラズ
漢沙ニ於テ朝鮮ノ共産化運動ハ共産主義本
來ノ目的ニ及スルトノ意味、下キ全同盟及其ノ
本支部ヲ解体シ、吉林省寧古塔ニ根柢ヲ有
スル中風共産党漢沙省委員会ニ加盟スルコト
ヲ決議シ其ノ組織ハ中華民國ノ各果ヲ区域
トシテ共産党ノ果ヲ設ケ、果ノ下ニヤチエーカ
ヤチエーカ(ヤチエーカ)ヲ置キ、ヤチエーカ
ノ下ニ小組ヲ置キ

I-0854

県三 県長一名 幹事二名、ヤケエーの如く若干名
小組若干名 遊撃隊員四十名以上、除隊隊長
一名、全隊員十五名以上、配置スルコトトシ、某組織
ハ既ニ成立シ、党役員、数二百余名ニ上リ、海軍
柳好、決然三県ニ就キ将来、不軌策動ニ備フベク
稱 米武器、購入及支那軍人、携帶スル拳銃
擄奪、方怯等ニ就キ種々画策中ナリト云フ
当該縣下五県中輝南、金川、二県ハ尚此ニ程進
動、均外ニ在ルカ如キモ、輝南県ニ於テハ最近吉
林省磐石県方面ヨリ宣傳員、潜リセル事實一
ツト見、海龍、一部、柳好、扶原、大部ハ彼
ホ一蠢動稍著シキモ、ヤリ無智蒙昧ナル鮮農
ニ對シ或ハ好言ヲ以テ巧ニニ大覺ヲ勸誘シ或

ハ拳銃ヲ擬シ強制入覺ヲ迫ル等、覺系募集集ニ
汲々タル一方加入者 擄ニ對シテハ覺員トシテ現人主
又ハ物區ヲ強徴シ、侍ラ遊撃隊系ヲ派シ武器
獲得、目的ヲ以テ誰彼ヲ與ハズ總有、果州
ヲ逞フシワーリ、而シテ之ヲ反動團體トシテ、農民
自治会等、名ノトニ旧国民府系不逞團、策動
アリ又支那軍憲、壓迫アル等相当複雑セル状
態ヲ形勢レツワーリ
今海龍、柳好、扶原三県ニ亘ル最近ニ於テハ鮮
人共ニ在覺、跳梁、跡ヲ見ルニ大様在リル
海龍県ニ於テハ共ニ在覺状況
本県ニ於テハ共ニ在覺跳梁、範圍ハ三八在、四八
石及扶原、柳好、扶原境ニ亘ル一帶ニシテ其ノ未檢

81
8
8
8
8

I-0854

三四八石二置、密時前記地方鮮人部出沒、
 覺、學、或、金品ヲ強奪、(密年秋亦、其領セル
 水災救恤金ヲ拮奪セリ、不勘) 又ハ一戸當
 糶一支斗完、(覺、密納ハ方ヲ強奪スル等、累リ
 放テ、外、本年五月、中、ハ在、ハ在、鮮人、煙、枝
 敵、師、金、明珠、ヲ、又、全、七、日、三、全、地、活、他、推、其、他、一
 名、ヲ、共、二、日、本、官、憲、密、偵、ナ、ト、稱、シ、殺、傷、シ、決
 テ、去、ル、十、日、十、七、日、本、県、下、水、道、ヲ、於、テ、東、谷、自
 動、車、ヲ、襲、撃、シ、支、那人、乗、客、一、名、ヲ、射、殺、セ、ル
 事件、ハ、八、日、時、既、報、通、リ、本、県、下、ニ、於、ケ、ル、主
 十、八、党、員、九、名、

中国共産党滿洲省委員会
 海龍県長 李基鳳 (三三)

- | | | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|--------|
| 全 | 幹 | 沈 | 昌 | 威 | (三〇) |
| 全 | 日 | 李 | 浩 | 信 | (不詳) |
| 全 | 游 | 金 | 基 | 元 | (二四) |
| 全 | 擊 | 金 | 陳 | 平 | (二七) |
| 全 | 隊 | 金 | 朴 | 贊 | 女 (二二) |
| 全 | 系 | 金 | 浸 | 道 | (二三) |
| (正金成道八十月三日逮捕) | | | | | |
| 全 | 全 | 金 | 永 | 善 | (三一) |
| 全 | 全 | 金 | 純 | 吉 | (三三) |
| 全 | 全 | 鄭 | 沛 | 三 | (三七) |
| 全 | 全 | 鄭 | 沛 | 九 | (三〇) |
| (在、ハ、三、三、二、名、以、外、不、詳) | | | | | |
| 全、十、七、二、一、名、二、名、以、外、不、詳 | | | | | |

全小組 係 權重錫 (二三)
 分三名氏名不詳
 全探險隊長 金 某 (一也)
 全隊 係 十四名氏名不詳

二折向果於其共產覺狀況

当果鮮人共產覺ハ其着山末田農民同盟(別名軒
 民會)ノ多ト三源浦ヲ中心トスル一帯ノ地ニ暴國
 ヲ逞ワセハ本年八月中國農民協會ト改稱シ(全
 滿各地ノ農民同盟ハ何レモ改稱)中國農民協會
 ト合同シ中韓農民同盟ト稱シ加盟者ハ如地方
 滿北年ノ殆ト全部ヲ細羅シ其ノ數約一千名
 (主トシテ三源浦孤山子五道沟約七百名及通化
 梨哈呢河三百名)ト註セリ維持費トシテハ普

北年一名ニ對シ毎日現洋三拾仙(老人全四拾仙
 婦女子全二拾仙)ヲ徵收シ比較的鞏固ナル組織
 一トシ其ノ勢力侮ルカガルモノアリシカ偶々
 本年十月一日仲秋節當日三源浦ニ於テ其支那
 官吏ノ共產覺大檢舉事件(十日二十日附機關
 報)ハ四分五裂ノ有様トナリ幹部等何レモ逃去
 行方ヲ晦マシムル結果脫走者相繼ガ且覺覺中
 三主義ニ反對スルモノ漸増(過半數)目下純覺系
 トシテ武器ヲ携帶シ活動シ居ル者四十名ニ過
 ス之等ノ精ハ支那官吏ノ取締嚴重ナル力
 盡田ハ山田ニ潛シ夜間トシテ出テ主義ヲ宣
 傳ニ努ムルト雖モ支那官吏ノ追跡ヲ怖ル事

I-0854

甚^レ夥^ク加^ルルニ因^リ地方ニハ自^ラ裏^ニ共^産党^獨標^ヲ極^ムルニ
 あり之^レが對抗^シ國^體トシ^テ鮮^農農^回ニ一^種、自^然義^者
 國^ノ勃^興ヲ見^ル彼^等ハ主^トシ^テ共^産主^義者^等
 〃好^ク初^メ支^那政^黨ニ密^ニ告^シ居^ルヲ以^テ(仲^秋
 節^ノ為^由、大^檢警^ヲモ彼^等告^シニ^照リ^テ支^那政^黨
 〃出^動ヲ見^ルナ^リ)現^今共^産党^ノ勢^力ハ昔^ノ
 〃如^クナ^ラズ一^方談^話地^方民^ノ積^成ヲ得^最近^中三
 〃民^自治^會十^ニモ一^ヲ組^織シ(首^領金^世温^ハ回
 〃民^府系^人物^ニシ^テ自^治會^ノ美^名ノ下^ニ假^粧セ^ル
 〃毛^將素^因府^勢力^ノ伸^張ヲ企^圖シ^テア^ルモ(其^レ
 〃共^産黨^ノ勦^滅ノ目^的ノ下^ニ發^見次^中支^那政^黨
 〃先^發連^捕セ^レト居^ルヲ以^テ金^地方^一帶^ハ稍^々
 〃康^ハ保^テラ^レル^ニ因^テ一^部幹^部ハ編^述地^方

果^南山^城子^ニ於^テル^決議^以經^民協^會ヲ解^體
 〃中^共滿^洲省^委員^ノ下^ニ目^下金^剛山^子五^道
 〃海^ラ根^據トシ^テ勢^力恢^復ヲ目^論見^居ル^ニシ^テ
 〃其^ノ主^トシ^テ覺^察ス^ル也

中国共産党滿洲省委員會

- 〃 柳^河保^長李^希淵^(三七)
- 〃 幹^部 金^永濟^(不詳)
- 〃 同^在 金^鎮鎬^(〃)
- 〃 金^ヤ牛^エノ^以外 金^宇乾^(〃)
- 〃 金^日葵 鄭^大隊^(〃)
- 〃 金^日奎 吳^貴男^(〃)

三^決原^保ニ於^テル^共産^黨狀^況

本^保不^共産^黨ハ南^山城^子根^據ヲ置^テ海^龍

柳河県境方面一帯、地ニ多少ノ覺系ヲ有シ其ノ
數百名ヲ越テ内過激ナル團争系ヲ約二十名ト
稱セラルス彼等ノ一部ハ同原県境ニ迄テ紫河
溝ヲ根拠トシ主トシテ本県西北境一帯、地ニ活
躍シツリテ而シテ此等系ノ行動ハ今秋收穫
期以テ覺費武器ノ獲得等ノ目的ノ下ニ便ニ
一段ノ猛威ヲ加ヘツリ去ル十月十八日全團
下西樹枝沟ニ於テ支那保衛團ヲ襲ヒ團員一
名ヲ射殺シ長銃十七挺ヲ奪ヒテ逃走セル事
件ハ十一月三日附標宛公中四一五号拙稿参照
並ニ公十月二十九日武裝セル共産覺系十六名
隊標ヲ掲ゲテ全県下津家溝ニ於ケル支那人
小學校ヲ襲撃シ種々暴行ヲ働キタル上多數

ノ停單ヲ撒布遁走セル事件(十一月七日附標
宛公中三九九号拙稿参照)何レモ當時既報
ノ如ク彼等一味ノ仕事ニ外ナラズ又最近ニ於
テ去ル十一月十日彼等ノ一派ハ海龍県下小水
道子鮮農韓某方ヲ襲ヒ水災救恤金ヲ擄
去リテ逃ル等其ノ行動甚ク凶悪ナル爲メニ
即警察ヲ取締ラシテ一層過激化セシムルヲ
累ラシテ救養良ナル鮮農ニ迄リボシタルモノ
如ク一部鮮農ハ支那警察ノ壓迫ヲ怖ル他県ニ移
住セリト傳ハレル
同県共産黨幹部以戸在リル
中国共産黨滿洲省委員會

法原県長 李羽白(筆名)

李 幹 事 張 在 旭 (二土佐)
 李 赫 (不詳)
 金 致 順 (一)
 昭北向島及吉林方面、特派サシラン朴素心、李寬
 珠、朱健等數名、幹部ハ、果下各党員ニ對シ
 一被的揮ツテ、居シト云フ

以上

本信守送付先
 奉天、吉林、鉄嶺、通化、撫順各公館長
 朝鮮、関東各警務局長

I-0854

032

奉送

郵送専用

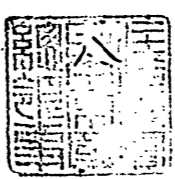
機密第一二六七號

第二編

昭和五年十二月二十三日

在哈爾濱

總領事 八木 元



昭和六年壹月六日 接収記
別紙添付



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

乙様

韓族總聯合會負逮捕ニ対スル一面攻
鮮人民會ノ聲明及警告文配布ニ関スル件

本年十一月二十三日一面攻駐屯中國陸軍第四十二團ノ
出勤ニ依リ中東沿線石頭河子ニ根據ヲ有スル不逞團韓
族總聯合會負俞昌德一派ノ逮捕ニ関シテハ曩ニ十二月

五日附機密第一二一三號ヲ以テ報告シ置キムルカ右事
件ニ付一面攻鮮人民會ニ於テハ別紙ノ如キ聲明書及警告
文ヲ祭表各方面居住鮮人向ニ配布シタルカ右一部當
館警察ニ於テ入手ヤルニ依リ譯文ト共ニ報告ス

本信寫送付先

在華公使、在北平首席、在上海、吉林、南島、長春、齊、
哈爾濱、南京各總領事、領事

I-0854

譯文

死線に彷徨する我々同胞諸君に告ぐ
 愛する我々同胞諸君！血眼をなす北滿洲の曠野に漂
 浪する我々同胞の生活情態を見よ、如何に悲惨なるヤ！
 一莖の餘生をアルカ存續せんとする慣れた故郷を立つて
 見知らぬ山川異域、嵐立の漂浪する時、如何程愛惜の涙
 の流る胸の詰る様か、喘息を吐く夕暮に我々ハ皆同じ
 体験の嘗て々同胞兄弟にナイカ我々ノ中テ一人ノ安
 樂ニ生活シ又一人ヲ苦シマントスレモノアリヤ其ノ受
 クレトトカ同じテ希望スレトトカ同じク其ノ意思カ同
 一テアル以上我々ハ思フニ將來ノ幸福ヲレヘキニ盡シテ
 南拓ニシテ為人ニ互ニ扶ケ助ケ合フリカ正名テアルトスル
 一々然シ我々ハ過去ニ於テ我々同士の相扶ケ相助ケテ

事實ハ如何程アルカ然ルニ同胞同士カ面接スレトシテ
 外国人ニ面接スルヨリニ難ク恐ロシイモノトスル状況
 在ルニトシテ余カ痛嘆ノ限アル
 二重三重ノ苦痛ヲ受ケルトキ何等ノ力ナキ我々トシテ
 ハ我々同志カ固イ團結ヲ以テ自衛的生活方策ヲ講究セ
 ねハナラズ又こそ不拘ニ入り乱レテ戦ヒ奪ヒ合ヒ加之
 〇〇ト謂フ美名ノ下ニ僅カトカリノ欲望ヲ充タサシ
 カ為テ虐鈍ナ農民、可憐ニモ苦シム同胞ニ苛斂ヲ濫祭
 シ誅戮ヲ敢行シテ自滅ノ死境ニ彷徨セルトスレテ見ル
 時、誠ニ痛嘆ヲ禁モ得ナイモノカアル
 愛スル我々同胞諸君！我々ハ思フニ生キニカ為メニ此
 所ニ来タリテハナイカ坐立死ヲ待ツルハ不可ナリ
 猛烈ニ覚醒シ奮然ト自衛シ我々同志カ強固ナ一丸ト

I-0854



+ ヲテ 迫ッテ 来ル 自滅ノ 大禍ヲ 降ルヘキナリ 我々ノ手
 テ 幸福トシムヘキ生活ヲ 探求スルト 同時ニ 我々ノ生活
 ヲ 妨害シ 我々ノ 同胞ヲ 迫害スル 一切ノ 悪分子ヲ 徹底的
 ニ 掃蕩セシムナリ
 茲ニ 本會ハ 下ノ 如キ 事業ヲ 積極的ニ 実行シ 全一 面攻吾
 北滿一帯ノ 我々 同胞ノ 生活安定ヲ 圖リ 得ルニテニ 努力
 スル
 (一) 我々ト 我々 同志ノ 固ク 團結シ 以テ 自衛策ヲ 確立スル
 コト
 (二) 我々ト 相互扶助ノ 精神ヲ 以テ 共存共栄ニ 努ムルコト
 (三) 我々ト 合法運動ニヨリ 生活上ニ 努力スルコト
 (四) 我々ト 積極的ニ 中國人トノ 親善ヲ 圖ルコト
 (五) 産業ヲ 奨励シ 土地開墾ニ 力ヲ 注クコト

(六) 教育ヲ 奨励シ 文盲退治ニ 努ムルコト
 愛スル 我々 同胞 諸君ニ 我々カ 要感ヲ 告ギルコト
 手致カク 来タリテハ ナイ 又 決ミテ 世上ヲ 争フカ 如キ 殖
 民政策ノ 先鋒トシテ 来タリ 理テハ ナイ 各自カ 飢寒ニ 堪
 ス 生涯ヲ 探サントシテ 来リ 會ヒタモ ノカ 吾地方ニモ 十
 萬ノ 算スル 程テ アレシ 故 我々ト 我々ノ 死活問題ヲ ア
 ン 生活安定ヲ 圖ルニトカ 我々ノ 最大ノ 目的テ アルト 同
 時ニ 我々ノ 生活安定ヲ 感嘆スル 者ハ 則チ 我々ノ 敵テ ア
 ル 特ニ 近村ノ 我々 同胞中 輕率盲動シテ 各地方ヲ 暴挙ヲ
 惹起スル 夕々 同胞ニ 何等ノ 利益ヲ 齎ラヌコトナク 無慘
 ナ 迫害ヲ 受クシムニ 至レシカ 誠ニ 寒心ニ 堪ヘヌ所テ アル
 我々 同胞カ 如何ナル 場所ヲ 選ビ 解ヘヌ 輕率盲動スルコトセ
 人 第二ノ 政術テ アル 中國ヲ ナニ 驅逐サレ 結局 我々ノ 生

I-0854

治ヲ根本的ニ破壊シテ仕舞フモノトシテ我々ハ如
斯行爲ヲ徹底的ニ警戒シ我々ノ共存共栄ノ目的ヲ達成
セシムベキナリ

愛スル我同胞諸君ヨ

覚醒セヨ、奮起セヨ、

一九三〇年十二月十二日

一面坡朝鮮人居留民會

譯文

鄭一雨、俞得德、吳海山、崔桂、金斗一等逮捕ニ
際シ其真相ヲ通告スルト共ニ我同胞諸君ニ警聲ヲ
促ス

愛スル我同胞諸君——十一月頃中國官憲ハ石頭河ニ
在ル鄭一雨、俞得德等四名ヲ逮捕シテ事實ニ對シ或ハ
疑惑ヲ想ケル者トキモ非ズ茲ニ其真相ヲ發表シ我同
胞ガ如何ニスレバ生活ヲ安定ヲ得ルコトガ安來ルカト
云フコトヲ一言シタイト思ヒマス愛スル我同胞諸君
逮捕サレタ彼等ハ如何ナルコトヲ爲シタ人違カ、見ヨ
彼等ノ歴史的蠻行ヲ彼等ハ二年前我同胞ノ爲メ海外ニ
於テ十余星霜奮闘努力シテ「采麟」ナル者ヲ彼等ノ命
令ニ服従セントテ彼ノ所有物ヲ強奪スル爲メ僞罪名下
ニ無慘ニモ殺害シテ其所有物ヲ分配シマシタルノレ
テナリ最近六月二十日頃ニ哈爾濱ニ居住スル醫師「蔡
用臣」ガ我同胞兒童ニ種痘ヲ施行セント藥片ヲ持テ兼不
テ土地ノ運搬ヲ爲サント多少ノ金貨ヲ携ヘテ石頭河ニ
ニ往ツタ處彼等ハ其ノ金貨ヲ持取リ強奪スル爲メ其内
容ノ内容ヲ調査モナク亦僞僞ノ罪名下ニ右者ヲ打殺シ

I-0854

マシタ
本会ハ石頭河子民衆ノ凄惨ナ陳情ニ依リ其事実ヲ知ル
コトニナリマシタ中国官憲モ勿論ソレニ依リテ知ルト
コロトナリマシタ尙何ノ罪モナイ彼ノ屍体ノ現ハレタ
群如何ニ悲惨テアワタテセウカ誠ニ流レ出ソル族ヲ祭
レ得マセンテレタ祭用ニカ無辜ニ惨殺サレタト云フコト
トハ交際ノアワタ人達ハ深ク諒察サレル處テアリマセ
ウ彼等ハ其他ニモ監禁殴打并殺シタ事實ハ一ツツ数
ハルコトノ出来又程恣行ヲアソク凶暴ナ奴等テス彼等
ノ罪惡ハ天ニ祈テ天人ノ怒ル所トナリ遂ニ本会ノ立会
下ニ中国官憲ノ一網打盡トナリマシタ慶マル我同胞諸
君一勿論罪惡ノアル者ハ天ニ昇リ地ニ入ルノ術ナキ限
リ必スヤ法網ニ想ルモノテアリマス彼等ハ特ニ〇〇〇
ト云フ美名ノ下ニ無教ノ農民ノ膏血ヲ搾取スル爲メ天
下ヲ横行シタノテハアリマセンカ彼等ハ彼等ノ不良行
動ヲ別業スル者ニ對シテ譬ハ我同胞ノ爲メ犠牲的努力
ヲナシタ歴史ヲ有ソ人テモ彼等ノ命令ニ服従セヌモノ
トシテ或ハ彼等ト主張カ異ルトテ監禁打殺スル等ハ軍
ヲ率トモ思ハヌノテス最近彼等ノ増長シテ手段ハ一層
狡猾トナリ中国官憲ノ共產黨取締嚴重ナルヲ奇貨トシ
テ共產黨宣伝文ヲ殊更偽造撒布シテ無辜ノ我同胞諸君
ヲ死地ニ陥レル等ノ事實ハ今回逮捕當時ノ充分ノ証據
ト自白ニヨリ知ルコトガ出来マス我々ハ我々同胞中ニ
彼等ノ如キ兇漢ノ存在スルコトヲ恥シテ思ヒマス我々
今后特ニ注意シテ彼等ノ如キ惡黨ヲ自衛的一自ラ度
辨スルト彼等ト類似ノ輩ヲ積極的一撲殺シテナシム

リマセン本会ハ哲ノ如キ事件真相ヲ御知セシテ我々
同胞諸君ノ奮闘ト努力ヲ促ス次第デアリマス

一九三〇年十二月十二日

一面坡朝鮮人居留民会

蔡用ニ殺害事件ニ対シ

彼等ガ中国官憲ニ自白シテ内容ヲ御覽下サ
ハ死刑命令有鄭一雨翁昌徳ニ死刑執行有崔桂吳海山朴
玄武金斗日

ニ蔡用ニ逮捕状況 鄭一雨カ金斗日ニ命令シテ蔡用ニ

ニ診察シテ吳レト誘引シ翁昌徳ノ家ニ伴ヒ行ハシ

ニ蔡用ニ死刑理由 蔡用ニハ密偵ノ疑ガアルカラ死刑

ニシタ

ハ訊問状況 訊問ノ時棍棒ヲ膝下ニ敷イテ訊問シタ

ニ蔡用ニノ哀乞 哈角嶺ニ居住スル洪仁國方ヤ自分ノ

兄ニ自分ノ罪ノ有無ヲ調査シテ吳レト哀乞シタ然ル

ニ何等ノ調査モナク直チニ死刑ヲ執行シタ

ニ死刑執行状況 吳海山ガ麻繩ヲ蔡用ニノ首ヲ捲キ崔

桂カ執刀殺害シタ

ニ屍体ノ處置 金斗日ガ草林中ニ埋葬シタ

ニ蔡用ニノ所持金品ニ対スル處置 藥嶺ハ翁昌徳カ眼

鏡ト往診靴ハ鄭一雨カ靴ハ吳海山カ衣服ハ金斗日カ

各分配シ其他ノ旅館ニ在リテ所持品ハ事實察見ノ虞

レガアルノデ分配セシカワタ

以上

照會亞局
核案第一二六九號

第二編

昭和五年十二月二十三日

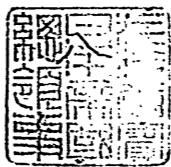


昭和六年正月六日 盛



在哈爾濱

總領事 八木元



外務大臣岡野啓介原喜重郎殿

共產党大學出身鮮人徐鉄洙、鮮内地滲入説ニ關スル件

本件ニ關シ當館謀者ニ齎セル情報別紙ノ通何等御参考

迄報告申進ス

本信寫送付先

在華公使 北平、奉天、上海、吉林、長春、瀋陽、

朝鮮總督府警務局

I-0854

0328

共產大學出身鮮人徐鉄珠鮮内地潜入説

露領沿海州ハバロフスク市街地ニ住居スル金永活ノ内
話セル処ヲ聞クニ露西軍中央政府ヨリ「共產大學校卒業
生鮮人徐鉄珠」朝鮮咸鏡北道鏡城郡ノ出身ニシテ鏡
城普通學校ヨリ高等普通學校ヲ卒業シタルモノナルカ
ラテ共產主義思想ヲ研究シ居リ自家ニ於テ約一年間農
業ニ従事セシニ遂ニ昭和二年露領ニ渡リ高麗共產党本
部少数民族部長朴昌極ノ周旋ニテ露西軍中央政府共產
大學校ニ入学シ優秀ナル成績ヲ以テ卒業シ昨年露領内
高麗共產党本部内責任秘書ノ重職ニ就任スル事トナリ
少数民族部長朴昌極ハ本名ヲ最ニ信用シ
テ朝鮮内及南北滿洲ニ党宣傳員ヲ派遣スルニ際シテモ
尚名極秘裡ニ計リテ密派スルコト、ナレルヲ以テ容易

ニ外部ニ於テ之レヲ知ルニ由リキモ最近又復極東政府
莫ハ朴昌極ヲ西麗共產党本部ニ送りテ密謀ニ南北滿洲
各地鮮人共產党ノ現状ト朝鮮内共產党ノ事情ヲ内査セ
シムル者徐鉄珠ヲ派遣スルコトニ決定シ十一月廿日徐
鉄珠ハ極東共產党宣傳委員長ノ指令ヲ受ケテ「ハバロフスクレ
」ヲ出發スヘキ事定ナル由ナルカ徐ノ視察地名ハ中東沿
線一帯ニ於テ中國軍警ニ逮捕セラレタル人負ト其地名
其他哈爾濱市長春市吉林省敦化事件ノ事情調査及旅中
村而子街百草溝琿春頭道溝等ニ於ケル事情調査並ニ朝
鮮内地ハ會寧清津南成津元山又港灣都市其他大邱全
州平城平壤新義州ヨリ安奉線ニ出テ奉天ヨリ哈爾濱ヲ
通過露領ニ敗退スヘク一行ハ徐外ニ名ナリト云フ

了

吉原公天

昭和五年

第二号

昭和六年四月八日

陸軍部

機密公第八八二號

昭和五年十二月二十四日

別紙添附

在吉林

總領事

石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

共産主義鮮人等ノ農民協會籌備會開催ニ関スル件

本件ニ関シ謀知シ得タル所別記ノ通り報告申進ス

本信寫送付先

臨時代理公使、北平、奉天、閩島、ハルビン、長春、海龍、通化

関東長官、朝鮮總督

滿洲ニ於ケル朝鮮人共産運動ハ本春以來中國共産党ト合流シテ同党滿洲省委員會ノ指導下ニ在リテ總テノ工作ヲ進行スルコト、ナリ同時ニ從來鮮人主義者間ニ於テ組織シ居タル表現團體ハ一齊ニ之レヲ解体清算シ新ニ中國共産党側ノ指導ニ依リ各地農村ニ農民協會ヲ組織シツ、アルコトハ屢報ノ通りナルカ現今地方的ニ之レヲ組織セラレツ、アルモ未ク統一の体形ノ組織ヲ見ルニ至ラサルヲ以テ其完成ヲ期スル為メ中共黨滿洲省委特派員ノ指導下ニ本月十八日、十九日、兩日ニ亘リ吉林省永吉縣(元吉林縣)五里河子ニ各地鮮人代表者及關係者集合シ農民協會籌備會ヲ開催セルカ其狀況ハ左記ノ如シ

左記

農民協會籌備會開催狀況

I-0854

0330

一、場所 吉林省永吉縣(元吉縣)五里河子
 二、期間 昭和五年十二月十八日、十九日(二日間)
 三、出席代表者(九名)

- 吉林 李光一 (元Mレ系)
- 盤石 朴鳳 (中國共產黨員鮮人朴振(弟))
- 樺甸 朴成文 (元火曜派系)
- 柳河 李克烈 (派閥關係ナシ)
- 敦化 李相根 (元在滿農民同盟敦化地方幹部)
(吉教農動事件關係者)
- 阿城 李允極 (元火曜派系)
- 舒蘭 鄭海鵬 (元Mレ系)
- 扶餘 黃鍾國 (元火曜派系)
- 清源 安一相 (元Mレ系)

六、臨席指導者
 康山 (支那人三十年位、中共滿洲省委特派員)
 朴振 (朝鮮人別名田世光、中共滿洲省委指導員)

五、會ノ順序及決議事項

- 1、農民協會ニ對スル經過報告(報告者李春園)
- 2、首席團選舉
 黃鍾國、李允極、鄭海鵬
- 3、組織問題
 農民協會ノ制度ヲ四階級ニ分ケ省、縣、區、班トス
 會員ノ資格問題
 會員ノ資格ハ地主、小作人、雇傭農夫ヲ同ハズ自ラ農耕勞役ニ從事スル者タルコト不勞地主、二房東等ハ之レヲ排ス
- 4、會員ノ資格問題
- 5、綱領、規約問題
 中國共產黨制定ノ農民協會綱領、規約ニ準據スルコト
- 6、義務金問題
 會員ヨリ毎年現銀一元ヲ徵收スルコト
- 7、宣傳問題
 現今官憲ノ取締嚴重ナル為メ宣傳印刷物ノ撤布ハ當分見

B11

B11

合々百戸以上ノ農村ニハ省委ヨリ直接宣傳員ヲ派遣シテ講演其他適宜ノ方法ヲ以テ宣傳シ各都市工場ノ宣傳ト密接ナル連絡ヲ保ツコト

8. 青年、以年、婦人問題

中國共產黨ノ指導ヲ受ケ同党ノ規則ニ遵フコト

9. 自衛隊問題

十七歳以上三十五歳以下ノ革命意識ヲ有スル者ヲ以テ組織スルコト

10. 韓族獨立團ニ対スル問題

本協會ニ於テ極力暴壓手段ヲ取ルコト、其実行方法ハ執行委員會ニ一任ス

11. 暴動ニ対スル指導問題

暴動ハ農民ノ迷惑ヲ及ボサザル様大衆ヲ離レバルケザン式ニ為スニト其方法等ハ執行委員會ニ一任ス

12. 執行委員選舉

李光民、朴鳳、崔東山、李相根、李允極、鄭海鵬、李光一
乃其ノ他
執行委員會

以上

B11

B11

機密公第八八二號

昭和五年十二月二十四日

在吉林總領事 石射猪太郎

外務大臣男爵 幣原喜重郎殿

共產主義鮮人等ノ農民協會籌備會開催ニ關スル件

本件ニ關シ諜知シ得タル所別記ノ通り報告申進ス

本信寫送付先 臨時代理公使 北平 奉天 間島 ハルビン

長春 海龍 通化

關東長官 朝鮮總督

外務省

滿洲ニ於ケル朝鮮人共產運動ハ本春以來中國共產黨ト合流シテ同黨
 滿洲省委員會ノ指導下ニ在リテ總テノ工作ヲ進行スルコト、ナリ同
 時ニ從來鮮人主義者間ニ於テ組織シ居タル表現團體ハ一齊ニ之ニ
 鮮併呑算シ新ニ中國共產黨側ノ指導ニ依リ各地農村ニ農民協會ヲ組
 織シツツアルコトハ屢報ノ通りナルガ現今地方的ニ之ヲ組織セラ
 レツツアルモ未ダ統一の体形ヲ組織ヲ見ルニ至ラサルヲ以テ其完成
 ヲ期スル爲メ中共黨滿洲省委特派員ノ指導下ニ本月十八日、十九日
 ノ兩日ニ亘リ吉林省永吉縣（元吉林縣）五里河子ニ各地鮮人代表者
 及關係者集合シ農民協會籌備會ヲ開催セルガ其狀況ハ左記ノ如シ

左記

農民協會籌備會開催狀況

外務省

場所 吉林省永吉縣（元吉林縣）五里河子
 期間 昭和五年十二月十八日・十九日（二日間）
 出席代表者（九名）

- 吉林 李光一（元M.L.系）
- 盤石 朴鳳（中國共產黨員鮮人朴振ノ弟）
- 樺甸 朴成文（元火曜派系）
- 柳河 李克烈（派閥關係ナシ）
- 敦化 李相根（元在滿農民同盟敦化地方幹部吉敦暴動事件關係者）
- 阿城 李允極（元火曜派系）
- 舒蘭 鄭海鵬（元M.L.系）
- 扶餘 黃鍾國（元火曜派系）

外務省

清源 安一相（元M.L.系）
 臨時指導者

- 康山（支那人、三十年位、中共黨滿洲省委特派員）
- 朴振（朝鮮人、別名田世光、中共黨滿洲省委指導員）

外務省

I-0854

一、會ノ順序及決議事項

1、農民協會ニ對スル經過報告（報告者季春園）

2、首席團選舉

黃鍾國、李允極、鄭海鵬

3、組織問題

農民協會ノ制度ヲ四階級ニ分チ省、縣、區、班トス

4、會員ノ資格問題

會員ノ資格ハ地主、小作人、雇傭農夫ヲ問ハス自ラ農耕勞役ニ
従事スル者タルコト不勞地主、二房東等ハ之レヲ排ス

5、綱領、規約問題

中國共產黨制定ノ農民協會綱領、規約ニ準據スルコト

外務省

6、義務金問題

會員ヨリ毎年現銀一元ヲ徵收スルコト

7、宣傳問題

現今官憲ノ取締嚴重ナル爲メ宣傳印刷物ノ撒布ハ當分見合セ百
戸以上ノ農村ニハ省委ヨリ直接宣傳員ヲ派遣シテ講演其他適宜
ノ方法ヲ以テ宣傳シ各都市工場ノ宣傳ト密接ナル連絡ヲ保ツコ
ト

8、青年、少年、婦人問題

中國共產黨ノ指導ヲ受ケ同黨ノ規則ニ遵フコト

9、自衛隊問題

十七歳以上三十五歳以下ノ革命意識ヲ有スル者ヲ以テ組織スル

外務省

高橋公天

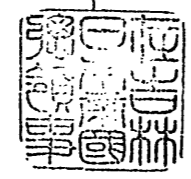
臣高橋公天

機密公第八八三號

昭和五年十二月二十四日

在吉林

總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

共產主義鮮人馬天錫ノ病死ニ関スル件

本件ニ関シ諜知シタル所別記ノ通り報告申進ス
本信寫送付先 臨時代理公使 北平、奉天、閩島、上海
ハルビン、長春、海龍、通化

閩東長官、朝鮮總督

昭和六年一月八日 陸軍省

別紙添付

コト

10、韓族獨立團ニ對スル問題

本協會ニ於テ極力暴壓手段ヲ取ルコト、其實行方法ハ執行委員
會ニ一任ス

11、暴動ニ對スル指導問題

暴動ハ農民ニ迷惑ヲ及ボササル様大衆ヲ離レバルチガシ式ニ爲
スコト其方法等ハ執行委員會ニ一任ス

12、執行委員選舉

李光民、朴鳳、崔東山、李相根、李允極、鄭海鵬、李光一

13、其他

閉會

外務省

7.4

I-0854

0336

元在中國韓人青年同盟中央執行委員長兼在滿農民同盟青年部長タリシ馬天穆(別名吳海秋、李澤生)ハMレ派ノ重要人物ニシテ盤石地方ヲ根據トシ共產主義宣傳ニ没頭シ居タル者ナル處本夏以來肺患ニ罹リ教化縣香水河子居住實父馬晋ノ許ニ在リテ靜養シ居タルカ過般教化地方共匪暴動後一時何レニカ逃走シタルモ同地支那官憲ノ諒解ヲ得テ教化ニ改來シ居タル處十一月初旬額穆縣政府ハ省政府ノ命ニ依リ保衛隊員ヲ教化ニ派シ馬天穆外ニ名ヲ逮捕シ甬來同縣監獄ニ拘禁中ナリシカ馬天穆ハ疾患重リ本月六日遂ニ病死シタリト云フ

照會

第二編

昭和六年四月八日

機密公第五八六號

昭和五年十二月二十四日

在長春

領事 田代重

外務大臣 男爵幣原喜重郎殿



朝鮮革命軍司令部ノ東亞日報社ニ對スル警告的聲討文送致ニ關スル件

朝鮮革命軍吉江省指揮部首領李鐘洛カ東亞日報社ニ對シ聲討文ヲ撒布シタル件ニ關シテハ在吉林石射總領事發閣下宛昭和五年十二月十五日附機密公第八六一號報告ノ通ナル處當地ニ在ル東亞日報社長春支局長金利三ニ對シテモ十二月二日附ヲ以テ同月十五日前記李鐘洛ヨリ内容同様ノ聲討文ヲ郵送シ來リタルカ發信局ハ吉林ナリシトノ趣ナリ

在長春日本帝國領事館

I-0854

御參考迄此段報告ス
本信寫送付先
奉天 吉林 哈爾濱
朝鮮總督 關東長官

在長春日本帝國領事館

B11

亞細亞局
機密公第五九五號

第二編

昭和五年十二月二十六日

在長春

領事 田代重德



外務大臣 男爵幣原喜重郎 殿

昭和五年十二月二十六日附機密公領第一九號

在吉林石射總領事 宛寫送付

名件

共產黨嫌疑者朝鮮人黃菊燦逮捕ニ關スル件

I-0854

0338

機密公領第一九號

昭和五年十二月二十六日

別紙添付

在長春

領事 田代重徳

在吉林

總領事 石射猪太郎 殿

共產黨嫌疑者朝鮮人黃菊燦逮捕ニ關スル件



本月二十二日長春市公安局ハ吉林省政府筋ヨリ附屬地内ニアル朝鮮人經營ノ吉源精米所ニ店員トシテ從業シツツアル鮮人黃菊燦(四十才)ハ教化暴動事件ノ首謀者ナルヲ以テ逮捕シ加之歸化鮮人ナルカ故ニ日本側ヨリ引渡ヲ受クヘントノ密電ニ接シタル趣ヲ以テ右公安局督察長ハ長春警察署ニ逮捕共助方申出テアリタルニ付直チニ署員ヲ出動シ同人ヲ逮捕慎重取調ヘタル處右ハ鮮人間ノ私怨感情ニ因ル逆宣傳ノ結果ニシテ共產黨員タルノ證據ナキニ付長春警察署ハ此ノ旨公安局ニ通告スルト共ニ黃菊燦ハ一應放還シタル趣ナリ

本件ハ省政府筋ヨリノ指圖ニヨリ當地公安局ニ於テ逮捕引渡方ヲ當方ニ申越シタル次第ニシテ中國側カ教化事件ノ首謀者トシテ重大視シ居ルニ反シ當方ニ於ケル取調ヘノ結果ハ何等共產黨員タルノ確證ナキノミナラス單ニ歸化鮮人ナリトノ理由ノミニテ急遽中國側ニ引渡スヘキ筋合爲ノモノニ非ラサルヲ以テ中國側ノ希望ニ反シ黃ヲ既ニ放還シタル次第ナルニ付省政府トシテハ或ハ黃ノ放還ニ對シ當方ノ眞意ニ付誤解ヲ懷クコトアルヤモ計リ難ク將來中國側ヨリ何等カノ形式ヲ以テ交渉シ來ルヘキハ豫想ニ難カラサル次第ナルヲ以テ當館ハ不取敢別紙公文第一三七號寫ノ通り中國側ヘ甲入レ置キタルニ付テハ委細右ニテ御了知ノ上今後ノ事關ニ關シ省政府筋ニ事情説明方可然御取計相成度此段申進ス

本信寫送付先
外務大臣 奉天 哈爾濱 簡島
關東長官 朝鮮總督

公文第一三七號

昭和五年十二月二十六日

在長春

領事 田代重徳

長春市政警備處長 周玉柄 殿

拜啓 願者今般長春警察署ノ報告ニ據レハ本月二十二日長春市公安局長梁督察長來署シ滿鐵附屬地内朝鮮人ノ經營ニ係ル吉源精米所ニ過般教化暴動事件ノ首謀者鮮人黃菊森、黃世享潛伏中ナルニ付逮捕アリ度旨申出アリタルヲ以テ直チニ署員ヲ出動シ吉源精米所ヲ包圍黃菊森（黃世享ハ來長シタル形跡ナシ）ヲ逮捕取調ヘタルニ同人ハ大正七年一月家族ト共ニ滿洲ニ渡リ各地ヲ轉住シ客年一月教化ニ移住シ今日ニ至リタルモノナルカ教化ニ於テハ小作料問題ニテ同地居住鮮人金正植（貴國陸軍使用人）ナルモノト相争ヒ常ニ反目ノ状態ニアリタル處恰モ本年七月下旬教化地方暴動事件ノ勃發ニ際シ貴國

官憲ノ共產黨員被奉行ルルヤ右金正植ハ從來ノ私的感情上ノ報復手段トシテ貴國官憲ニ黃菊森、黃世享等ヲ共產黨員ナリト密告シタル結果貴國官憲ノ捜査嚴重トナリタルヲ以テ身邊ノ危險ヲ覺レ單身同地ヲ脱走シ九月下旬同郷人タル前記吉源精米所主人方ニ寓居シ店員トシテ労働ニ従事シツツ生活ヲ寓居ルモノナリト陳述シタル處實ハ年齡四十六歳風態其他ノ點ヨリ見テ明カニ純朴ナル農夫ト見受けラレ毫モ思想的傾向ヲ有シ居ルモノト認メラレス自然梁督察長申出ノ如ク何等共產黨員タルノ確證ナカリシヲ以テ全然私怨ニ基ク逆宣傳ナリト認メ一應成還シキヤ同人ノ身元其他ニ付テハ引續キ調査中ナル趣ニ有之候

査スルニ與地居住朝鮮人ノ保護取締方ニ關シ貴我雙方協力シテ其ノ實績ヲ擧ケンコトハ本官屢次及照會置キタル通りニ有之貴國側ニ於テモ既ニ同感ノ意ヲ表セラレ誠意ヲ以テ措置ヲ執ラレ居ル次第ニ候得共前記黃菊森ノ共產黨員嫌疑ハ全然鮮人間ノ私的感情ニ基ク逆宣傳ノ結果ニ因ルモノナルニ付事情御了知相成度此段照會得貴意候

敬具

亞細亞局

機密公第五九七號

昭和五年十二月二十七日

在長春

領事 田代重

外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

吉林省密山縣下ノ共產黨放火事件ニ對スル省當局ノ討伐電命ニ關スル件

(長春警察情報)

本件ニ關シ長春東北無電臺長馬樹棠ノ語ル處ニ依レハ十二月二十日吉林省密山縣ニ共產黨現ハレ民家五戸ニ放火シ鄉村各處ニ共產黨宣傳ビラヲ貼付シタル處右共產黨員ハ何レモ中鮮人合同團體ニシテ時々附近山家ヨリ出テ來リ宣傳ヲ爲スモノナル旨報告アリ右ニ對シ吉林民政廳長ハ密山縣警團宛副司令公署ヨリハ綏賢鎮守使宛

在長春日本帝國領事館

昭和六年一月八日



記

附近山家ヲ搜查シ證據アル者ハ直チニ銃殺ニ處シ將來ニ於ケル他ノ戒ト爲スヘント協力討伐方電命シタル趣ナリ何等御參考迄此段報告ス

本信寫送付先

奉天 吉林 哈爾濱 間島

朝鮮總督府

在長春日本帝國領事館

I-0854

亞細亞局

第二課

昭和六年五月七日

6.1.7.

機密公第八八六號

昭和五年十二月二十七日

別紙添附

在吉林

總領事 石射 猪太郎



吉澤 昌

外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

鮮人共産主義者等ノ長春潛入説ニ関スル件

本件ニ関シ謀知シ得タル所別記ノ通り報告申進ス

本信寫送付先 奉天、ハルビン、長春

関東長官 朝鮮總督

元朝鮮共産党再建設派幹部金舜基及元在滿韓人反帝國主義同盟幹部崔煥(李寬洙)兩名ハ本夏其所屬表現團體解散後何レモ相前後レテ吉林ヲ去リ中東線方面ニ赴キ居タル処同方面ニ於ケル支那官憲ノ共産党員ニ対スル取締嚴重ナル為メ今ヨリ約一ヶ月前右兩名及宋尚夏(新民府民政派幹部)等ハ長春ニ來リ東亞日報記者金利三方其他ニ潜伏シ居レリトノ説ヨリ當地鮮人間ニ石ノ者ノ等ノ入長ハ日本側ニ歟順ノ為メハ非サルカト評シ居レリ而シテ目下中東線ヨリ東吉滯在中ノ申甫等ハ曩ニ鄭信カ中東線ニ歟去スル途中ハ倫附近部落ニテ何者ニカ暗殺セラレタル事件ニ対シ下手人ハ右宋尚夏一派ノ者ニハ非サルカトノ疑念ヲ懷キ居ルモノ、如ク(鄭信ヲ暗殺シタルハ既報ノ通り李鍾珣ノ部下ナリ)申甫ハ當地支那官憲ニ鄭信ノ屍體捜査方ヲ頼出テ居レリ前記人物等ハ果シテ長春ニ潜伏シ居ルヤ否ヤ的確ナラサルニ時局柄注意ヲ要ス、キヲ以テ聽込ノ儘御参考迄

I-0854

昭和六年一月七日

機密公第八八八號

昭和五年十二月二十七日

別紙添附

在吉林

總領事 石射猪太郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

鮮人共産黨員朴振ノ行動ニ関スル件

本件ニ関シ諜知シ得タル所別記ノ通り報告申進ス

本信寫送付先

奉天、ハルビン、長春、海龍

関東長官

朝鮮總督

志保

中國共産黨員鮮人朴振ハ常時當地ニ出入シ主義宣傳ニ從事シ居レル者ナルカ十一月下旬哈爾濱ニ於テ李鍾洛一派カ朝鮮革命軍司令部ヲ組織スル當リ該密議ニ参加シ政治部員ニ奉ケラレ其後間モナク哈爾濱ヨリ敗来シ本月十八十九日ノ兩日ニ亘リ永吉縣(元吉林縣)五里河子ニ於テ各地鮮人代表者集合シ農民協會籌備會ヲ開催セル際ハ中共黨滿洲省委特派員支那人康山ト共ニ指導者トシテ之レニ臨席シタルトハ何レモ既報ノ通りナルカ中國共産黨ニ加入セルMレ系人物等トノ間ニ最近感情ノ阻隔ヲ来シ朴振ハ李鍾洛一派ト合同シ投機的事業ニ馳セ本黨ノ命令ニ服從セサル旨滿洲省委ニ對シ離間的報告ヲ為シタルヲ以テ朴振ハ大ニ憤慨シ滿洲省委ニ對シ党内ノ要害ナル派閥ヲ徹底的ニ清算シテ新ニ黨ノ政策ヲ樹立ス、キストヲ弁

I-0854

明報告ニ同時ニ自己ノ實弟タル孫鳳ハ盤石党都責任者トシテ
区内七縣ヲ指導シ居レルヲ以テ之ト協談ス、去二十四日
盤石ニ向ケ出發シタリ朴鳳ト協談要點ハ中國共党側カ鮮人
派閥首領等ニ利用セラレ居ルニトシテ自覚シ直チニ之レ等ノ派
閥ヲ清算スルニ非サレハ盤石党都ノ指導ヲ受クル七縣内ニ於
ケル同志ヲ収合シ中國党ハ真正ナル政策ヲ樹立スル迄独自の
行動ヲ展南セムトスルニ在リ兼テ又將來滿洲ニ放ケル軍事
行動ハ不可避ノ事情ニ在ルヲ以テ目下盤石縣黒石鎮ニ居住ス
ル友人趙秀山(支那人馬賊頭領ニシテ撫松安國地方ヲ振興トス)ニ
商會シ軍事行動ニ就キ打合せヲ為ス豫定ナリト云フ

B11

I-0854

亞細亞局

第三課

關機高收第三一三七六號ノ二

昭和五年十二月二十九日

關東廳警務局長

秘

拓務次官
外務省次官
内務省警務局長
朝鮮總督府警務局長
關東廳警務局長
哈爾濱上海各事務官

殿殿殿殿殿

昭和六年正月 七日接受

6.1.9

容疑鮮人共產黨員取調

十二月二十二日長春公安局梁督察長六長春警察署ニ來リ同地鮮人吉源
精米所李奎瑞方ニ過般教化暴動事件ノ首謀者タル共產黨員ニシテ歸化
鮮人黃菊燦、黃世亨兩名各自率統ヲ所持シ潜伏中ナルヲ以テ逮捕方交
涉アリ直ニ長春警察署員ヲ出動セシメ黃菊燦（黃世亨ハ來長ノ形跡ナ

1

シ）ヲ逮捕シタルカ率統ハ固ヨリ何等ノ所持品ナク取調ヘタルニ左記
聽取書ノ通同人ハ大正七年一月家族同伴農禁ノ目的ヲ以テ渡滿各地ヲ
轉々シ昨年一月教化ニ移住シ今日ニ至ルモノナルカ去ル七月下旬頃教
化ニ於ケル鮮支共産黨員ノ暴動事件勃發スルヤ曾テ反目ノ間ニ在リシ
鮮人金正植ハ從前ヨリノ私的感情ヲ割ミ報復手段トシテ同暴動事件ヲ
樞會ニ黃菊燦、黃世亨外小作人全部ヲ共產黨員ナリト密告シタル爲支
那官憲ハ爾來同人等ヲ共產黨員ナリト誤認シ搜查シツツアリタルモノ
ノ如ク同人ハ教化事件發生スルヤ身邊ノ危險ヲ懼レ家族其他農作物ヲ
全部放擲シ山中ニ遷レ居タルカ九月下旬長春ニ來リ同郷人タル吉源精
米所主人李奎瑞方ニ於テ米ノ検査ヲ爲シ辛シテ生活ヲ繼續セルモノニ
シテ尙同人ハ來長當時鮮人民會長金東晚ニ對シ教化ニ殘留セル家族ノ
救出方ヲ嘆願シタル事實アリト云フ

2

I-0854

0345

3.

恩フニ同人ハ家族九人ヲ有シ四十六ノ年配ニシテ風体其他ノ點ヨリシテ思想的傾向ヲ有セサルモノナルコトハ一見明瞭ナリ然レトモ近時奥地ニ於ケル鮮人間ノ軋轢ハ支那官憲ノ鮮人共產黨取締嚴重ナルヲ利用シテ相互逆宣傳、誣告等ヲ以テ私怨ヲ晴サントスル國民性ハ黃菊燦ニ對スル共產黨員ノ嫌疑トナリタルニアラサルカト思料セラルルモノアルノミナラス共產黨員ト認ムヘキ確證無キヲ以テ支那側ニ其ノ理由ヲ通告スルト共ニ一應放還シ同人ノ身元等ニ付テハ引續キ取調中ナルモ御參考迄

3.

總 取 卷 (寫)

本 籍 朝鮮江原道蔚珍郡溫井面德紅里

住 所 吉林省敦化縣坤水河子

現 在 地 長春曙町三丁目八番地

吉源精米所李奎瑞方

店員 黃菊軒 黃 菊 修

當四十六年

4

右者昭和五年八月一日敦化ニ於ケル共產黨暴動被疑事件ニ關シ本隊ニ
 詢シ任意左ノ陳述ヲ爲セリ

一私ハ無學テ尙ク諺文ヲ解シマヌ

一前科ハアリマセシ

一私ハ本籍地テ農業ヲ營ンテ居リマシタカ滿洲ノ水田耕作カ非常ニ利

益アルト聞キ大正七年一月日ハ忘レマシタカ家族（子供三人ト夫婦）
同仲渡補致シマシテ最初ハ奉天柳河縣東溝ニ落着キ約一ケ年農業ニ
従事シマシタカ其年ハ作柄カ悪ク失敗シマシタノテ大正八年二月盤
石縣小集版子ニ移住シ農業ニ従事シテ居リマシタカ同地ニ十年余リ
モ耕作シテ水田モ次第ニ地質カ悪クナリ隨テ收穫モ遞減シマシタカ
ラ教化地方カ將來有望ト聞キ昨昭和四年一月教化ニ家族ヲ引連レ移
住シマシタ

一私カ移住シテ行キマシタ處ハ教化縣城カラ西方支那里ノ三十五里距
ル均水河子ト言フ處テ其當時鮮人ハ二十二戸人口七十名位テ皆農業
ヲ營ンテ居リマス

5
一私ハ家族八名（妻鄭順伊四十四年、長男仁煥十六年、二男義煥十四
年、三男禮煥十二年、四男智煥八年、長女羅味十年、次女羅二六年

以上妻子ノ名ヲ奉名ハ替キ得ス何レモ通譯ニ於テ聽取記載ス）テア
リマス

一私ハ均水河子ニ着テカラ收稅局ヲ管理スル（官有地）水田七天地ヲ
借り受ケ耕作シテ居リマシタカ此ノ土地ハ教化ニ水ク住ンテ支那官
憲ニ信用アル鮮人金正植（當三十七八年）カ收稅局ヨリ借り受ケテ
更ニ私共ニ貸與シ居ル關係上其ノ小作契約ハ金正植ト結ンテ居リマ
シテ最初ノ契約ニハ小作料一田地ニ付一石半テアリマシタノニ拘
ラス金正植ハ支那官憲ノ信賴アルニ增長シテ其後ハ橫暴ニモ一田地
ニ付三石ノ小作料納入ヲ強要シタノテ收稅局ノ管理土地ヲ小作スル
者私外十一名（黃世亨、鄭華善、李奎八、崔贊斗、李學京、朴贊基
李益信、黃道煥、黃海德、黃炳龍、李元五）ノ者ハ金正植ニ對シマ
シテ其ノ無理ナルヲ責メ反省ヲ促シマシタカ同人ハ毫モ之ニ應シマ

6

I-0854

7

セス飽迄モ三行ノ小作料ヲ強要スルノテ後ニハ相互ノ争ト成リマシ
 テ私共ハ詮方無ク昨年四月小作人十二名ノ名ヲ以テ金正植ノ不當要
 求ヲ教化收税局ニ數回訴へ出テ裁判ヲ仰キマシタカ收税局テハ私共
 ノ訴ヲ聽キ入レテ吳レマセンテシタノテ已ム無ク昨年五月初メ頃此
 度ハ告訴狀(嘆願書ナラン)ヲ吉林督軍公署(吉林督軍張作相ノ所
 有地ナリト思料ス)ニ提出シテ其後裁判中テアリマスカ未タ何等ノ
 解決ヲ見マセヌ其時ノ告訴狀ハ私カ代表トナツテ吉林ニ赴キ督軍公
 署ニ差出シマシタ

一 其後金正植ト私共小作人トノ仲カ非常ニ惡ク犬猿ノ間柄テアリマシ
 タ

一 處カ金正植ハ本年七月中頃教化ノ陸軍團本部ノ密偵トシテ屈ハレテ
 カラトイフモノハ金ハ支那官憲ニモ一層信用サレテ一般鮮人ニハ憎

8

マレテ居リマシタカ又相當勞力モアリマシタ

一 處カ其後間モナク日ハ忘レマシタカ何テモ七月ノ末三十日頃ト思ヒ
 マス教化ノ附近テ鮮人ノ共産党ノ暴動事件カ興リマシタ其時ハ事件
 ハ存シマセンテナカ間モナク支那軍隊ヤ警察カ教化ニ居住スル鮮
 人ヲ殆ント全部逮捕シタト聞キ驚イテ居ル中ニ二三里離レタ部落テ
 支那官憲カ來テ鮮人ノ男ヲ全部逮捕シタト聞キ私モ身邊ノ危險ヲ恐
 レテ家族全部ヲ引連レテ洵水河子ヲ遁レテ附近ノ山ニ避難シマシタ
 其時同部落ノ鮮人ハ殆ト全部山奥ニ逃走シマシタ

一 斯様ニシテ鮮人ハ皆山ニ隠レテ居リマシタ處其ノ翌日ニナツテ洵水
 河子ノ支那人百家長カ私共ノ居ル處ニ來テ婦女子ハ何レモ罪モ無ク
 官憲ニ逮捕サルル事ハ無イ故歸宅ヲ勸メマシタノテ其山テ私共ハ家
 族妻子ト別レテ家族ハ歸宅セシメ私ハ尙山ニ隠レテ其ノ三日目ニ密

I-0854

9
カニ均水河子ノ我家ニ歸リマスト妻子ハ皆支那軍隊ニ逮捕サレ空家
トナツテ居リマシタ又他ノ鮮人ノ家モ同様テ中ニ病人ヤ老人等カ部
落ニ居残り是等ノ者ヨリ聞クト村ノ鮮人婦女子ハ皆十里計リ距ル保
衛區駐在所ニ同行サレ取調ヘテ受ケツツアリ又逮捕當時均水河子ニ
ハ前申シマシタ彼ノ金正植カ多數ノ軍人ヲ運レテ來テ軍人等ニ金正
植カ此ノ部落ノ黃菊燦カ今度ノ暴動事件ノ首謀者テアルカラ是非速
捕セネハナラヌト告ケテ居タト言ヒ聽カサレマシタノテ假令罪無ク
トモ今逮捕サレナハ直ニ銃殺サレルト思ヒ驚キ直ク様同村ヲ逃出シ
テ又山奥ニ隠レ約十五日計リ山ニ居リマシタ二度目ニ逃クル時ニハ
自宅カラ米一升鹽二合藥籠一個ヲ携ヘテ來マシタカ是レモ約十日位
テ食ヒ盡シマシタノテ此處ハ仕方無ク阿片ノ實ヲ煮テ食ヘテ居リマ
シタカ約五日程スルト体カ一面腫レテ歩行モ困難トナリマシタカラ

此處ハ殆ヲ覺悟シテ北黃泥河子ノ鮮人部落ニ迫リ着キ約一ヶ月計リ
隠レテ居リマシタ

一 九月ノ初旬頃汽車テ吉林ニ來テ吉源精米所ニ訪ネテ行キマシタ處カ
又支那官憲カ自分ヲ捜査シテ居ルト聞イテ其ノ日ニ長春ニ來テ盤石
縣テ知り合ツテ居タ吉源精米所李奎瑞方ニ落着只今テハ店員トシテ
米ノ検査等爲シテ働イテ居リマシタ

一 私ハ老年テソレニ無學テアリ全ク共產黨員テハアリマセン又暴動事
件等ニ關係シタ事ハアリマセヌ

一 私ヲ支那官憲テ共產黨員テ暴動ノ首謀者トシテ捜査シテキルノモ前
ニ詳シク申シタ様ニ金正植カ私的感情カラ支那官憲ヲ軍隊ニ密告シ
タ爲テアリマス

一 私カ吉源精米所ニ頼ツテ行ツタノハ主人李奎瑞カ同郷人テアリ且ツ

又盤石縣居住當時カラ知合ヒノ人テアリマス
 又私ハ長春ニ來ルト直ク是迄ノ事ヲ全部長春鮮人民會長ニ申シマシ
 タ
 一私ノ家族ハ今尙教化ノ坵水河子ニ居リマス私カ當地ヲ生活ノ基礎カ
 出來タラ呼ビ寄セル心算テスカ然シ教化ノ金正植カ看視シテ居ルト
 ノ事テ又最近教化方面カラ來タ人ノ話ニ依リマス金正植カ私ノ妻
 ニ對シ昨年ト本年度ノ小作料ヲ要求シテ若シ納入セサレハ長春ニ行
 ク能ハストイツテ今尙家族ヲ苦シメ居ルトノ事テアリマス何ヨリ家
 族ノ事カ心配テナリマセヌ
 一私ハ支那ニ歸化モシテ居ナイカラ別ニ罪カ無イ以上逃走ノ要ハアリ
 マセヌカ前ニ申シタ通り金正植トノ關係ト又無謀ナ支那官憲ノ事テ
 若シ殺サレタラ大變ト思ツテ教化ヨリ逃ケ出シマシタ次第テアリマ

ス

一黃世亨ハ教化暴動事件當時別レテ以來全然消息知リマセヌ
 一教化軍隊ノ密偵金正植ト喧嘩シタモノハ殆ト全部他ノ地方ニ逃走シ
 皆共產黨ノ嫌疑ヲ受ケテ居ルトノ事テアリマス
 一教化附近テ支那軍隊ヲ警察ノ爲ニ無辜ノ鮮人カ多數殺害サレタ事實
 モアリマシテ今ノ風容易ニ輿地ニハ行ク事モ出來マセヌ
 右錄取シ讀ミ附ケタルニ相違無キ旨ヲ申立テ署名無印ニ付捺印セリ